

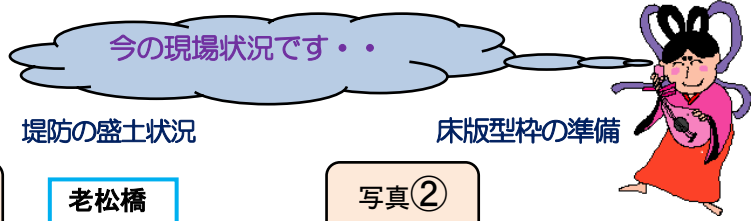
花泉大橋橋梁上部(床版工)工事 第3号広報

新しい年を迎え今年もよろしくお願いたします。 当地域の花泉大橋(仮称)上部工(床版工)工事を施工しております北上の“株式会社 小田島組”です。 極寒の候ではございますが、皆様にはますますご繁栄の事とお慶び申し上げます。 日頃は何かとお心にかけて下さいましてありがとうございます。 現在の現場状況ですが、道路盛土を終了し橋の高さまで堤防を擦付けるため盛土(写真①)と並行して床版の施工を開始しております(写真②)

堤防をウオーキングしていらっしゃる皆様にはご不便をおかけしますが、春までもう少しお待ちください。



今後の予定といたしましては、今月中旬頃から他現場の土砂が当現場に搬入されますので、ダンプトラックの通行により振動等でご不便・ご迷惑をおかけすることとされますが、『安全』には十分配慮し、皆様方の車両を優先の上、作業を進めてまいりますのでご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



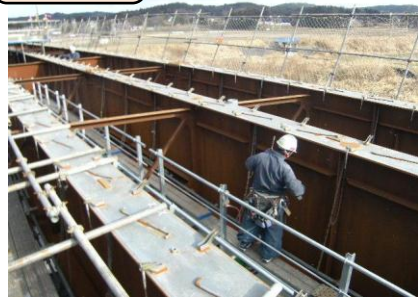
写真①



堤防の盛土状況

老松橋

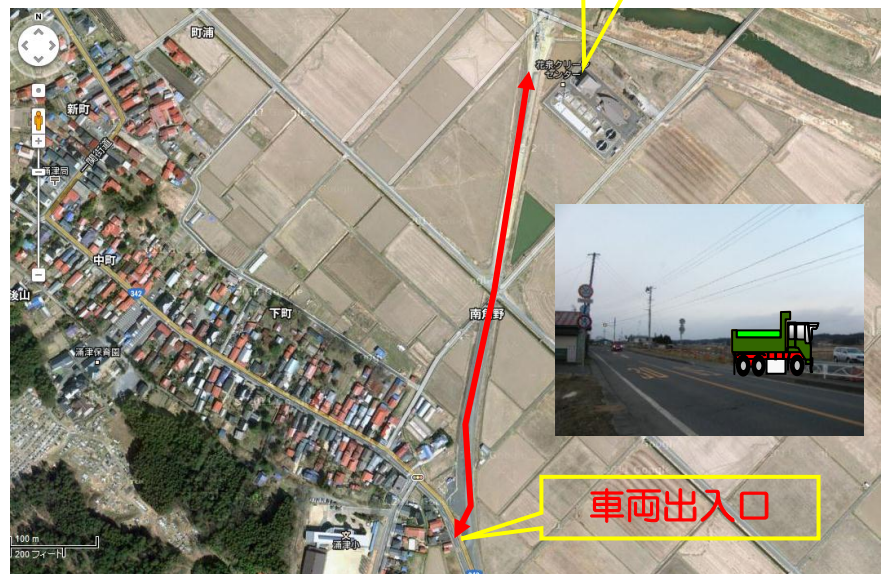
写真②



床版型枠の準備

ここから**工事車両**が出入いたします

花泉クリーンセンター様



車両出入口



私たちが現場担当者です



現場代理人
たかはしてつひろ
高橋 哲浩

主任技術者
いしだまさかず
石田 雅和
上記2名が担当させて頂いております。

シリーズ
花泉をもっと
知ろう!



ご当地! 花泉から発掘された
ハナイズミモリウシ

ハナイズミモリウシ

工事を進めるにあたり、お気づきの点がございましたら、**下記連絡先**にご連絡いただければ早急に対応させていただきますので宜しくお願いいたします。

現場事務所 0191-48-3144 (FAX 兼用)
(株)小田島組 0197-72-2176 (本 社)

現場責任者 **090-9636-0746 (高橋 哲浩)**
主任技術者 **080-1830-9931 (石田 雅和)**

たかはしてつひろ
いしだまさかず

ハナイズミモリウシは現在の家畜化された牛とは違い、アメリカ野牛やヨーロッパ野牛(バイソン)に近い種類で、プリスクス野牛という種類ともいわれています。今から2万年程前の第四紀更新世(こうしんせい)末期のウルム氷期という時代に生きていた野牛です